

授業科目名・形態	看護マネジメント論	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	佐々木 冷子	開講期	4年前期	単位数	1

【授業の主題】

現在の看護管理は、新しいヘルスケアシステムを創造し、チームや組織システムを動かしていく活動である。看護サービスとは何か、看護の対象者に対して、知識・技術をケアとして捉え、安全な医療を提供する役割がある。さらに本課題は、看護を取り巻く保健・医療・福祉を総合的に学ぶ必要があります。

【到達目標】

看護を取り巻く周辺状況を理解し、臨床看護実践の重要性を理解する。
診療報酬を学び、看護経済を学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第1回 看護サービスの管理 P6
- 第2回 看護提供方式 P38
- 第3回 看護組織と管理 P25
- 第4回 看護管理のスキル①資源の獲得と配分 P85～93
- 第5回 看護管理のスキル②アウトカムマネジメント P180～184
- 第6回 看護管理のスキル③人的資源管理 P103～164
- 第7回 医療の連携と協働・医療経済と管理 P166～228
- 第8回 現代法制度と看護管理 P230

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

「看護提供方式」等の予習をして望んで頂きたい。

【主な関連する科目】

「看護学概論」「看護倫理学」

【教科書等】

手島恵 看護管理学 南江堂 2018

【参考文献】

- パトリシアベナー：井部俊子他訳 ベナー看護論 医学書院、2002
- エドガーH・シャイン：二村俊子他訳 キャリア・ダイナミックス 白桃書房、2002

【成績評価方法】

出席状況、前期試験等の総合評価

【学生へのメッセージ】

看護マネジメント論は、各すべての看護専門領域の統合されたマネジメントを学ぶ学問です。新しいデータを多く盛り込み授業展開したいと考えております。臨床看護の集大成として学生の皆様とともに、「安全な看護実践、魅力ある看護」とは何か、そして「看護の質向上のためには何が重要であるか」を共に学びたいと思います。